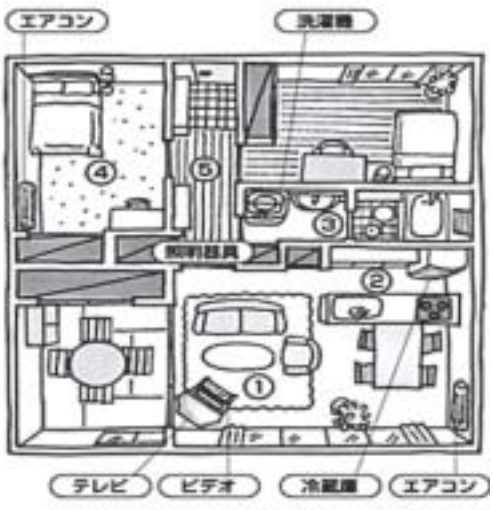
◆省エネ効果に差をつける　かしこい選び方＋使い方

最近は、省エネ性能の高い家電、省エネ機能がついた家電などもたくさん出ています。省エネのためには、そうしたエネルギー性能のよい製品を選ぶことが大事ですが、ふだんの生活のなかで家電をどう使うかによっても、省エネ効果は違ってきます。

家電を「かしこく選ぶこと」＋「かしこく使うこと」で、より多くの無駄（むだ）なエネルギーの消費が抑えられます。省エネ効果に差が出る身近な家電の選び方、使い方を紹介しましょう。

エアコン	□ グリーンの省エネ性マークを選ぶ □ 建物の構造・部屋の広さなどを考え、部屋の広さに合うものを選ぶ □ 夏の冷房設定温度は28℃を目安に	□ 冷房の不必要なつけっぱなしをしない □ フィルターを月に１、２回、掃除する □ カーテンやブラインドで直射日光を防ぐ
冷蔵庫	□ グリーンの省エネ性マークを選ぶ □ 家族の人数に合わせて、大きさ、機能を選ぶ □ ものを詰め込み過ぎない □ 直射日光が当たる場所やガスコンロの近くを避けて置く	□ 冷蔵庫の扉の開閉は少なく、短く □ 熱いものは冷ましてから入れる □ ドアのパッキンが傷んだら交換する □ 庫内は季節に合わせて温度調節する □ 冷蔵庫は壁から離して置く
テレビ	□ グリーンの省エネ性マークを選ぶ □ 夜間や留守のときは主電源まで切る □ 見ていないテレビはこまめに切る □ 節電機能を積極的に使う □ 必要以上に画面を明るくしたり、音を大きくしたりしない □ 画面のほこりはこまめに拭く	□ 節電機能があるものを選ぶ、リモコン待機時の消費電力を大幅に低減したもの、電源オフ設定ができるもの、室内の明るさに連動して画面の明るさを自動調整するものなど、メーカー各社によってさまざまな機能があります。
ビデオ	□ 待機時の消費電力の小さいものを選ぶ □ 表示部オフ機能やオートオフ機能など省エネ効果のあるものを選ぶ	□ 就寝時や留守のときは主電源まで切る □ 長時間使わないときはプラグを抜く □ 表示部オフ機能を使う
洗濯機	□ 洗濯・脱水容量が合ったものを選ぶ □ 消費電力・水量・洗剤の少ないものを選ぶ	□ 待機時消費電力ゼロやインバータ制御など省エネ機能のあるものを選ぶ □ 洗濯物はまとめて洗う □ 洗剤は汚れに応じて控えめに使う
照明器具	□ グリーンの省エネ性マークを選ぶ □ カタログ等に表示されている適用畳数（「〇畳用」など）を目安に選ぶ □ メンテナンスしやすいものを選ぶ □ インバータ式器具を選ぶ □ 無駄な明かりはこまめに消す	□ リモコンやスイッチで無駄な明るさがコントロールできるものを選ぶ □ 無駄な明かりはこまめに消す □ 白熱球の代わりに省エネ型の電球型蛍光ランプにする □ ランプや傘はこまめに掃除する

かしこく選ぶ　かしこく使う　**年間省エネ効果**

	機　器	かしこく選ぶ		かしこく使う	
		削減電力量	節約金額	削減電力量	節約金額
①リビング	エアコン	1,052kWh	24,200円	138kWh	3,170円
	テレビ	24kWh	500円	38kWh	880円
	ビデオ	14kWh	330円	3kWh	80円
	照　明	28kWh	640円	6kWh	130円
②キッチン	冷蔵庫	500kWh	11,500円	128kWh	2,950円
③風呂・洗面所	洗濯機	26kWh	600円	4kWh	80円
④主寝室	エアコン	631kWh	14,520円	83kWh	1,900円
	照　明	28kWh	640円	6kWh	130円
⑤廊下	照　明 白熱灯→電球型蛍光ランプ	78kWh	1,790円	6kWh	130円
合　計		2,381kWh	54,770円	412kWh	9,450円

資料：資源エネルギー庁